



シャロームだより



穏やかな陽の光が嬉しい季節ですね。春の訪れまでもう少し！外に出掛けて「タンポポ」や「てんとう虫」を探しながらゆったりとお散歩も楽しいですね。

今年度はコロナが5類になり、行動制限もなくなりいつもの風景が戻ってきましたね。シャロームでは、1月頃から利用する方が増えてきて、お母さま同士が顔見知りになり嬉しく思います。今年度も残り1ヶ月です。4月には新しい生活が待っている方も多いと思います。それぞれの場所で楽しい時間を過ごすことができるようにシャロームからお祈りしています。引き続き遊びに来てくれる方たちとまたお会いできるのを楽しみにしています。



1歳から「自分でする！」は始まります。 ～自立・自律の第一歩は1歳から～

とにかく「自分でやる」の一点張りで、私に触らせようとはしません（2歳3ヶ月）

洋服のボタンなど「自分で」と言って、少しでも手を出すと怒るので、気のすむまでやらせています（2歳5ヶ月）



口癖のように「自分でする自分でする」と言ってなんでもやりたがる。着替えに関しては少し手を貸そうとするものすごく怒ります（1歳10ヶ月）



●「ひとりでする！」と言い張る子どもの主張は、1歳からもう始まります。それは、自分の力で生きようとする生命の表現であり、自立と自律への強い願望の表れです。この生命の力と自立への願望を受け止め、ひとりでできるように手伝えるのが教育の原点です。

●自分の思いをことばで伝えることができるようになるころから、子どもは「する、する」と言い始めます。その時期に落ち着かず乱暴をする子どもは「自分でしたい」のに「やり方がわからない」からです。こういう時期こそ「やり方」を根気よく、ていねいに、繰り返し、教えてあげることが大事なのです。

●子どもが「できない」「こわい」と言うから、大人が手を出してやってあげるのではなく「どうすればできるのか」を教えてあげることが大事なのです。ゆっくり、はっきり、してみせてあげましょう。

参考文献：『お母さんの「発見」モンテッソーリ教育で学ぶ子どもの見方・たすけ方』 相良敦子 著

